

# 三重県のり情報

発行 三重県漁業協同組合連合会  
指導部

住所 三重県津市広明町323-1  
Tel 059-228-1205  
HP <http://www.miegyoren.or.jp/>

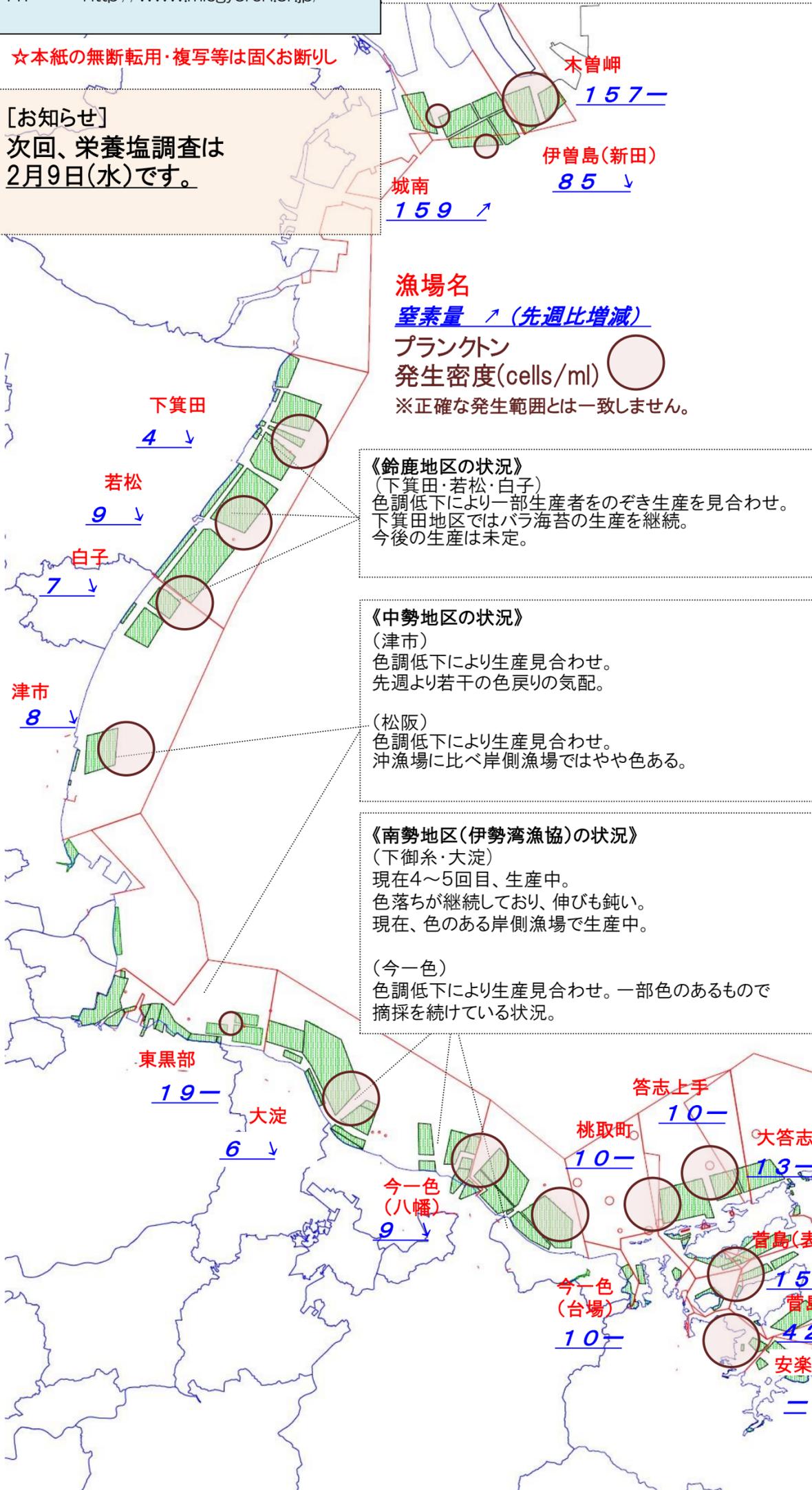
(海況情報)2月2日調査時点

【水温】 6.0~10.0℃。 平年並みで推移。  
【プランクトン】 県内広域に大型植物プランクトンが発生中。  
【栄養塩量】 桑名地区で十分量、その他の漁場で極端に少なくなっています。今後の栄養塩動向に注意して下さい。  
【潮位情報】 名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値(気象庁) 予測潮位 +10cm ~ +29cm やや高めで推移。

★情報収集、普及活動、試験分析担当  
<桑名~南勢明和>  
津農林水産事務所水産室  
(tel)059-223-5128  
<南勢伊勢~鳥羽>  
伊勢農林水産事務所水産室  
(tel)0596-27-5189  
<鳥羽>鳥羽市水産研究所  
(tel)0599-25-3316  
<試験分析等>  
三重県水産研究所鈴鹿水産研究室

☆本紙の無断転用・複写等は固くお断りし

[お知らせ]  
次回、栄養塩調査は  
2月9日(水)です。



漁場名  
窒素量 ↑ (先週比増減)  
プランクトン  
発生密度(cells/ml) ○  
※正確な発生範囲とは一致しません。

《鈴鹿地区の状況》  
(下箕田・若松・白子)  
色調低下により一部生産者をのぞき生産を見合わせ。  
下箕田地区ではバラ海苔の生産を継続。  
今後の生産は未定。

《中勢地区の状況》  
(津市)  
色調低下により生産見合わせ。  
先週より若干の色戻りの気配。  
(松阪)  
色調低下により生産見合わせ。  
沖漁場に比べ岸側漁場ではやや色ある。

《南勢地区(伊勢湾漁協)の状況》  
(下御糸・大淀)  
現在4~5回目、生産中。  
色落ちが継続しており、伸びも鈍い。  
現在、色のある岸側漁場で生産中。  
(今一色)  
色調低下により生産見合わせ。一部色のあるもので  
摘採を続けている状況。

《桑名地区の状況》  
(木曾岬・伊曾島・赤須賀)  
現在2~3回目全力生産中。  
色調、伸びともに良好。一部漁場でクサレがみられるも  
現在は解消傾向。

2月1日より伊曾島漁協バラ海苔加工施設が稼働を開始。  
製品については次回共販より出品となる。

海況、注意点等  
**漁場栄養塩量回復せず、3週間目。県内、桑名地区を除き生産見合わせ。**  
1月中旬に始まった極度の低栄養状態は、一時の回復も見られないまま3週間目をむかえています。桑名地区と南勢の一部漁場をのぞく各浜では、生産を見合わせ、海苔の廃棄が行なわれています。生産の見込みのない網については撤去を予定する地区もあり、今後状況の好転がなければ網上げとなる地区も出てくると思われます。

今後の海況について  
依然として好転材料乏しく、向こう1週間まとまった降雨は期待できません。今回の色落ちをもたらしている要因のひとつ、大型珪藻類については、先日の採水分析および漁場観測機データより、緩やかではあるものの減少傾向にある模様です。

引き続き海況回復に備え、生産再開に向けた養殖管理をお願いします。

・ 共販結果 ・  
1月28日(金) 第5回汐  
枚数 : 2138万枚 (2132万枚)  
平均単価 : 11.18円 (12.51円)  
( )は去年同期

《鳥羽地区の状況》  
(桃取・答志)  
色調低下により生産を見合わせ。  
海苔の色は先週と変わらず、伸びも鈍い。  
酸処理と摘み取りを行い海況の回復を待つ状況。  
(菅島)  
先週以降色調低下が進む。摘採分の加工を終え  
次回の生産は未定。  
鳥羽水産研究所(小浜)  
確認されているリゾソレニア属は減少傾向。

黒のり生産者向け配信用アカウント★三重県黒のり養殖研究会LINE★にて配信中。

ご登録方法は漁連指導部・または所属の組合まで問合せ下さい。※PDFファイルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe Reader